

TOOLS for MR V1.6.0 for Windows Release Notes

TOOLS for MR V1.6.0 for Windows は以下のプログラムで構成されています。

- Yamaha Steinberg FW Driver V1.6.0
- Steinberg MR Editor V1.6.0
- Steinberg MR Extension V1.6.0

主なアップデートの内容

V1.5.2 → V1.6.0

Yamaha Steinberg FW Driver

V1.5.2 → V1.6.0

- ファイヤーワイヤーエクспанションボード「ヤマハ FW16E」に対応しました。
- Windows の DPI 設定で文字の大きさを変更している場合、ドライバーのコントロールパネルが正しく表示されない不具合を修正しました。
- 同梱のユーティリティソフトウェアで設定する IEEE1394 バッファサイズに、より大きな値を追加しました。従来の「Large」設定は、「Medium」設定になります。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

Steinberg MR Editor

V1.5.1 → V1.6.0

- ファイヤーワイヤーエクспанションボード「ヤマハ FW16E」に対応しました。

Steinberg MR Extension

V1.5.1 → V1.6.0

- Cubase 5.5/Nuendo 5 で Channel Strip/REV-X 設定画面の一部が正しく表示されない問題を修正しました。
- Cubase 5.5/Nuendo 5 で Hardware Setup 画面の一部が正しく表示されない問題を修正しました。
- MR816 CSX/MR816 X 本体の電源がオフのときに、Cubase を操作するとクラッシュすることがある問題を修正しました。
- Cubase のプロジェクトファイルを開いた直後、MR816 CSX/MR816 X の出力が一瞬大きくなることのある問題を修正しました。
- プロジェクトテンプレート「Steinberg MR816CSX Vocal-Inst Recording 1」を開いたときに、Channel Strip の設定の一部が正しく初期化されていない問題を修正しました。
- プロジェクトファイルをダブルクリックして Cubase を起動したときに、Channel Strip の設定の一部が正しく復元されないことがある問題を修正しました。

- 複数台の MR816 CSX/MR816 X を使用しているときに、複数の Cubase のプロジェクトファイルを同時に開いた状態でプロジェクトファイルを切り替えると、クラッシュすることがある問題を修正しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

過去のアップデートの内容

V1.5.1 → V1.5.2

Yamaha Steinberg FW Driver

V1.5.1 → V1.5.2

- 以下のような状況でノイズが発生する場合に、Yamaha Steinberg FW Driver の設定を変更できるユーティリティーソフトウェアを同梱しました。
 - レイテンシーの設定を最大にしてもノイズが発生する
 - O2Micro 社製、または JMicron 社製のチップを使用した IEEE1394 インターフェースを使用している
- 詳細は、本リリースノートの「[ユーティリティーソフトウェアについて](#)」をご参照ください。
- (Vista 64 ビット版) Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルを Windows のコントロールパネルから起動した場合、Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルを終了するときに、Windows の Program Compatibility Assistant (PCA) が起動することがある問題を修正しました。
 - 軽微な不具合を修正しました。

V1.5.0 → V1.5.1

- TOOLS for MR が Windows 7 で動作することを確認しました。

その他の主なアップデート内容については、以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg FW Driver

V1.5.0 → V1.5.1

- (Windows 7 64 ビット版のみ) 4GB 以上のメモリーを使用している場合に、ドライバーが受信したオーディオ信号にノイズがのることがある問題を修正しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

Steinberg MR Editor

V1.5.0 → V1.5.1

- 軽微な不具合を修正しました。

Steinberg MR Extension

V1.5.0 → V1.5.1

ダイレクトモニタリングがオンのときに、オーディオトラックのモニタリングボタンのオン/オフを切り替えると、切り替わるタイミングがオーディオ出力ごとにずれる問題を修正しました。

V1.2.0 (32 ビット版) / V1.2.1 (64 ビット版) → V1.5.0

Yamaha Steinberg FW Driver

V1.1.0 (32 ビット版) / V1.2.0 (64 ビット版) → V1.5.0

- (Windows Vista) プログラムのパフォーマンスを向上させる「Enable MMCSS」機能を追加しました。Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルで、この機能のオン/オフを切り替えます。
- Windows Vista 64 ビット版で、4GB 以上のメモリーを搭載している場合の入力レイテンシーを改善しました。
- 次の条件のときに、Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルで、設定の変更ができなくなる不具合を修正しました。
 1. ホストアプリケーションを使用中、コンピューターが休止状態に入る。
 2. 休止状態から復帰したあと、ホストアプリケーションを終了する。

Steinberg MR Editor

V1.2.0 → V1.5.0

- MR Editor の Scene に保存されるパラメーターに、次の 4 つを追加しました。
 - ・ ソロ
 - ・ Digital I/O, External FX
 - ・ Sweet Spot Morphing Ch. Strip
 - ・ External FX Type

Steinberg MR Extension

V1.2.0 → V1.5.0

- Hardware Setup 画面が新しくなりました。主な変更点は次のとおりです。
 - ・ 「Master Levels」タブを追加しました。ここでは、アナログ/デジタルそれぞれのマスターレベルをコントロールできます。
 - ・ 「Settings」タブを追加しました。ここでは、デジタルオーディオ信号を入出力する端子を選択したり、Sweet Spot Morphing Channel Strip エフェクトを挿入するチャンネルを選択したりできます。
 - ・ レベルを調整するパラメーターを、キーボード上の[Ctrl]/[command]キーを押しながらクリックすることで、ノミナル(0.00dB)に設定できるようになりました。
 - ・ レベルの表示を「dB」に変更しました。
- Rev-X の任意のパラメーターを、キーボード上の[Ctrl]/[command]キーを押しながらクリックしたときに、正

しい初期値が設定されない不具合を修正しました。

- Cubase のプロジェクトファイルを開いたときに、プロジェクトファイルに保存された Reverb のパラメーターが正しく復元されないことがある不具合を修正しました。
- Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルで、「Sweet Spot Morphing Ch. Strip」を「Digital Input」に設定しているときに、Cubase のミキサーに表示される MR816CSX/MR816X 入力設定画面の「+48V」/「PAD」インジケーターが正しく表示されない不具合を修正しました。
- Cubase のプロジェクトファイルを開いたときに、MR816CSX/MR816X 入力設定画面の設定が正しく切り替わらないことがある不具合を修正しました。
- 複数の MR816 CSX/MR816 X を接続したときに、使用できないオーディオポートが表示されることがある不具合を修正しました。
- 複数の MR816 CSX/MR816 X を接続して Rev-X を使用しているときに、1 台の接続を外すともう 1 台の Rev-X の設定がリセットされることがある不具合を修正しました。
- Sweet Spot Morphing Channel Strip を VST プラグインとして使用しているときに、オートメーションが自動で書き込まれてしまうことがある問題を修正しました。
- MR816CSX/MR816X 入力設定画面と Sweet Spot Morphing Channel Strip や Rev-X などの画面の間で、各エフェクトのパラメーターの表示値が異なる不具合を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.2.0 → V1.2.1 (64 ビット版のみ)

Yamaha Steinberg FW Driver

V1.1.0 → V1.2.0

- Windows Vista 64 ビット版で 4GB 以上のメモリーを使用している場合にオーディオ信号を正しく受信できない不具合を修正しました。

V1.1.0 → V1.2.0

- Cubase 5 に対応しました。
- Windows Vista 64 ビット版に対応しました。
- ヤマハ n8/n12 に対応しました。

その他の主なアップデート内容については、以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg FW Driver

V1.0.1 → V1.1.0

- WDM Audio ドライバーの出力ポートをステレオチャンネルからマルチチャンネル(6 チャンネル)に変更しました。出力チャンネルは、出力ポートの設定で指定したチャンネルからの連続した 6 チャンネルになります。

- その他の軽微な不具合を修正しました。

Steinberg MR Editor

V1.1.0 → V1.2.0

- Sweet Spot Morphing Channel Strip の設定画面で Sweet Spot Data のファイルが表示されないことがある不具合を修正しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

Steinberg MR Extension

V1.1.0 → V1.2.0

- Sweet Spot Morphing Channel Strip (以下「Channel Strip」)の設定画面を最小化したまま、VSTコネクション画面で入力バスのプリセット設定を読み込むと、Cubase が異常終了する不具合を修正しました。
- Channel Strip の設定画面の MORPH ノブと MR816 CSX の「MORPH」を設定したマルチファンクションエンコーダーノブを同時に操作すると、Cubase が異常終了することがある不具合を修正しました。
- Channel Strip の設定画面で Sweet Spot Data のファイルが表示されないことがある不具合を修正しました。
- 再生中に「Digital I/O, External FX」の設定を切り替えると音が出なくなることがある不具合を修正しました。
- 「Digital I/O, External FX」の設定を切り替えると MR816 CSX/MR816 X Hardware Setup 画面のヘッドフォン端子 1/2 のモニターソースの設定がリセットされることがある不具合を修正しました。
- サンプリング周波数または「Digital I/O, External FX」の設定が現在の設定と異なるプロジェクトファイルに切り替えた場合、MR816 CSX/MR816 X 入力設定画面が正常に表示されなくなることがある不具合を修正しました。
- プロジェクトファイルを切り替えた場合、MR816 CSX/MR816 X のヘッドフォン端子 1/2 から出力される信号として設定されたバスが切り替わらないことがある不具合を修正しました。
- VST コネクション画面のバスの変更が MR816 CSX/MR816 X Hardware Setup 画面のヘッドフォン端子 1/2 のモニターソースの設定値に反映されないことがある不具合を修正しました。
- VST コネクション画面で入力バスのプリセット設定を読み込んだ場合、MR816 CSX/MR816 X 入力設定画面が表示されないことがある不具合を修正しました。
- VST コネクション画面で出力バスを設定しても MR816 CSX/MR816 X Hardware Setup 画面の REV-X のリターンレベルのノブが表示されないことがある不具合を修正しました。
- MR816 CSX/MR816 X Hardware Setup 画面上でリバーブタイプを変更できないことがある不具合を修正しました。
- ヤマハ MOTIF XS などの Yamaha Steinberg FW Driver に対応した機器と MR816 CSX/MR816 X をデジチェーン接続した場合、接続する順番によって Cubase との連携機能が正常に動作しない不具合を修正しました。

- MR816 CSX/MR816 X 入力設定画面と REV-X/Channel Strip の設定画面にある同一パラメーターを、ショートカット操作([Ctrl]キーを押しながら該当パラメーターをクリック)によって初期値に設定した場合、設定値が各画面で異なることがある不具合を修正しました。
- ダイレクトモニタリングをオンにしている場合に、トラックのモニタリングボタンをオンにして再生すると、一瞬音が途切れる不具合を修正しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

V1.0.0 → V1.1.0

Yamaha Steinberg FW Driver

V1.0.0 → V1.0.1

- Yamaha Steinberg FW Driver をインストールしたコンピューターの動作中に、IEEE1394 インターフェースカードを抜き差しできる仕様に変更しました。コンピューターから IEEE1394 インターフェースカードを取り外すときは、Yamaha Steinberg FW Driver を使用しているアプリケーションをすべて終了し、「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってから取り外してください。
- Yamaha Steinberg FW Driver をインストールしたコンピューターに、IEEE1394 インターフェースカードを新規にインストールした直後に、その IEEE1394 インターフェースカードに対して Yamaha Steinberg FW Driver の Bus ドライバーがインストールされず、接続した Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器が認識されない不具合を修正しました。

Steinberg MR Editor

V1.0.0 → V1.1.0

- Channel Strip の Morph パラメーターと Sweet Spot Data が VST プリセットデータとして保存される仕様に変更しました。
- ヘッドフォン端子から出力される信号としていずれかの出力信号が常に割り当てられている仕様に変更しました。
- REV-X のスライダーにマウスポインターを合わせると、パラメーター値が表示される仕様に変更しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

Steinberg MR Extension

V1.0.0 → V1.1.0

- Cubase との連携機能を追加しました。
- # 詳しくは、ダウンロードしたファイルに収録されている MR816 CSX/MR816 X オペレーションマニュアル (PDF)をご参照ください。

ユーティリティーソフトウェアについて

以下のような状況でノイズが発生する場合、同梱のユーティリティーソフトウェアで Yamaha Steinberg FW Driver の設定を変更することで改善できることがあります。

- レイテンシーの設定を最大にしてもノイズが発生する
- O2Micro 社製、または JMicron 社製のチップを使用した IEEE1394 インターフェースを使用している

レイテンシーを最大に設定してもノイズが発生する場合の対処方法

一般的にノイズが発生する場合は、Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルで、ドライバーのバッファサイズを大きく設定することで解決しますが、環境によってはバッファサイズを最大に設定しても、まれにノイズが発生することがあります。これはオーディオドライバーの処理に影響を与える他のドライバーが原因の場合が多くあります。例えば無線 LAN のドライバーは、オーディオドライバーの処理に大きな影響を与えるといわれていますが、そのようなドライバーを取り除くことが、ノイズを解消する最善の方法と考えられます。コンピューターに搭載されている無線 LAN を使用していない場合は、無線 LAN をオフにするか、デバイスマネージャーを使って無線 LAN を無効に設定することをおすすめします。

影響しているドライバーが特定できない場合や、無効にできない場合は、ユーティリティーソフトウェアを使って、ドライバーの IEEE1394 バッファサイズを大きく設定することによりノイズの問題が改善する場合があります。

IEEE1394 バッファサイズを大きく設定する手順は下記のとおりです。

- 1) ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「Utility」フォルダーを開きます。
- 2) 「ysfwutility.exe」をダブルクリックしてユーティリティーソフトウェアを起動します。
- 3) 「IEEE1394 Buffer Size」設定画面で、「Medium」または「Large」を選択して「OK」ボタンをクリックします。
- 4) 画面に表示されるメッセージに従って、コンピューターを再起動します。

NOTE:

- IEEE1394 バッファサイズを元に戻すには「IEEE1394 Buffer Size」設定画面で、「Small [Default]」を選択します。
- IEEE1394 バッファサイズを変更すると、MIDI のレイテンシー値も変わります。MIDI をお使いの場合は、DAW ソフトウェアの MIDI レイテンシーに関する設定もご確認ください。

O2Micro 社製、または JMicron 社製のチップを使用した IEEE1394 インターフェースをお使いでノイズが発生する場合の対処方法

これらのチップは、Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器と互換がないことが確認されています。推奨の PC カード、または PCI カードを別途用意してお使いいただくことをおすすめしますが、

IEEE1394 バスの転送スピードを S200 に設定することでノイズの問題が改善する場合があります。

NOTE:

この設定は、Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器を 1 台のみ接続する場合に有効です。

IEEE1394 バスの転送スピードを S200 に設定する手順は下記のとおりです。

- 1) ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「Utility」フォルダーを開きます。
- 2) 「ysfwutility.exe」をダブルクリックして、ユーティリティソフトウェアを起動します。
- 3) 「IEEE1394 Transmission Speed」設定画面で、「S200」を選択して「OK」ボタンをクリックします。
- 4) 画面に表示されるメッセージに従って、コンピューターを再起動します。

NOTE:

IEEE1394 バスの転送スピードを元に戻すには「IEEE1394 Transmission Speed」設定画面で、「S400 [Default]」を選択します。

1394 インターフェースに使用されているチップは、以下の手順で確認できます。

- 1) Windows のデバイスマネージャーを開きます。
Windows の各バージョンでのデバイスマネージャーの開き方は、MR816 CSX/MR816 X セットアップガイドを参照してください。
- 2) 「1394 バスホストコントローラー」からお使いの IEEE1394 ホストコントローラーをダブルクリックしてプロパティ画面を表示します。
- 3) 詳細タブから「デバイスインスタンス ID」を選択します。
- 4) 表示される VendorID, DeviceID より確認します。

PCI¥VEN_1217&DEV_00F7&..... - O2Micro 社製チップ

PCI¥VEN_197B&DEV_2380&..... - JMicron 社製チップ

本文に掲載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

(C) 2010 Yamaha Corporation All Rights Reserved.